



# アジア健康構想下の 日本における介護の広報と人材還流の促進

誰もが活躍できる介護の職場づくりに向けた知見共有会

2024年2月7日(水)  
内閣官房 健康・医療戦略室

- アジア健康構想に向けた基本方針（平成28年7月29日決定、平成30年7月25日改定）のもと、アジアにおける健康長寿社会の実現と持続可能な成長を目指し、医療・介護、ヘルスケアサービス等について、相手国における自律的な産業を振興するための取組を産官学連携して推進してきた。
- 介護分野における具体的な取組として、例えば、アジアに紹介すべき日本的介護の整理や広報、介護のための日本語テストの制度創設等を行った。

## 日本的介護の理解促進

日本的介護の理解促進を目的に、地域包括ケアや自立支援の考え方を紹介し、その実践事例を掲載した広報資料「日本における介護について」（日・英）を策定。



「日本における介護について」より一部抜粋

アジア各国の関係機関へ広報するとともに、今後の広報の在り方について議論を実施。

本発表にて調査結果の概要も含め紹介

## 介護人材の日本語能力検定

介護の技能実習生の日本語能力の検定を行う「介護のための日本語テスト」を創設。令和3年度、有識者の提言も踏まえ、実施機関を初認定した。



令和3年度の試験の様子

3月、7月にも試験を実施予定。合格者はN3等に相当する日本語能力が認められている。

本日後半、試験の実施機関から試験概要についてご紹介

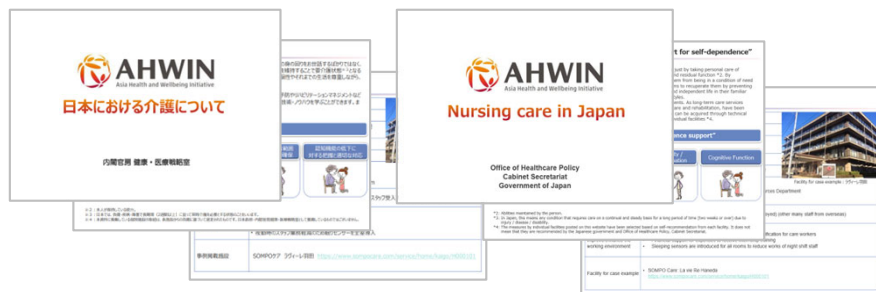
- 令和3年度に有識者の検討結果も踏まえ、広報資料「日本における介護について」を策定した。
- 令和4年度には、上記資料を海外に訴求するため、関係機関（政府機関、送出機関等）に活用を促進するとともに、今後の広報の在り方についてヒアリングを実施（5か国が対象）。
- 上記ヒアリングの結果を踏まえ、現地語（ベトナム）資料と動画を策定。本日公開。

## 広報資料の概要

介護を必要とする高齢者を寝たきりにしないための「自立支援」、本人の望む暮らし方にむけた「尊厳の保持」という考え方を紹介。これらを実践する介護施設の情報や、外国人技能実習生が活躍する施設の日本語や介護に関する教育支援体制、具体的取組事例等を100ページにわたり紹介。

日本語版：[https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/jp/pdf/nursing\\_care.pdf](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/jp/pdf/nursing_care.pdf)

英語版：[https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/en/pdf/nursing\\_care.pdf](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/en/pdf/nursing_care.pdf)



## 広報資料への意見（抜粋）

- 技能実習生に応募することを考えている学生が読むには難易度が高い反面、介護人材の送出に積極的なアジアの国のドクター、大学、短大、専門学校（看護学校、職業高校）、医師会などに向けた資料としては適切ではないか。
- 日本の良さについて、プラスの面を追加すると良いのではないか。（日本の自然、給与、キャリアパス、夜勤手当等）
- 日本語教師に介護で使われる言葉などについて理解してもらい、学生への指導に役立てて頂くのが良いのではないか。資料の後半はかなり具体的なので、役に立つと思う。
- **現地語版**や**動画**があれば、事業説明会などの人材の募集活動（専門学校、短大の新卒者向け）や、日本フェア、日本に関心がある人向けに、日本の介護についての知見を広めることができるのではないか。

健康医療戦略室のYouTubeチャンネルに動画公開  
日英に加えてベトナム語版が**Now Available**



- 令和4年度以降、日本における介護について関係機関と連携して様々なチャネルでの紹介を実施。引き続き、関係機関との連携を継続し日本的な介護の普及に努めていきたい。

## 1) OTIT(外国人技能実習機構)のHPにて掲載

- OTITのサイトに对外発信資料及び健康・医療戦略室のURLを掲載。「日本における介護」の認知度向上の取組を進めた。<https://www.otit.go.jp>

OTIT 外国人技能実習機構  
Organization for Technical Intern Training

## 2) Care Worker Guide(厚生労働省補助事業)サイトへの掲載

- 厚生労働省のご協力により、外国人介護人材向けサイトCare Worker Guideに对外発信資料及び健康・医療戦略室のURLを掲載。(日: <https://japanSWG.com/ja/11556/> 英: <https://japanSWG.com/11558/>)

 Japan Care Worker Guide  
厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

## 3) JICWELS(国際厚生事業団)主催のイベント(ハノイ)にて紹介

- 2022年12月、JICWELS が開催したイベント(日本で就労したEPA介護人材のベトナムでの同窓会)において、日本における介護を紹介。[https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/20221206EPA\\_ja.html](https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/20221206EPA_ja.html)

 公益 国際厚生事業団  
JICWELS

## 4) JICA(国際協力機構)主催、介護人材オンラインセミナーにて周知

- インドネシアにおける介護人材育成への取組と日本での受入事例をテーマに2023年1月開催。

 JICA

## 5) JCIE(日本国際交流センター)開催のHAPI賞受賞者のスタディツアーにて紹介

- 2023年11月、HAPI賞受賞団体が来日。<https://www.jcie.or.jp/japan/report/activity-report-24055/>

JCIE 日本国際交流センター  
JAPAN CENTER FOR INTERNATIONAL EXCHANGE

## 6) フィリピン保健省との連携

- フィリピン保健省は、国内の看護・介護士向けe-learningサイト(<https://learn.doh.gov.ph/>)を提供しており、同資料(英)を掲載することについて前向きに検討中。また、同広報資料について、2023年3月の第2回ヘルスケア合同委員会(政府間ハイレベル会合)にて大臣代行に紹介。

 Republic of the Philippines  
Department of Health  
Kagawaran ng Kalusugan

## 7) フィリピン移住労働者省との連携の可能性を模索

- 当該資料を活用した今後の普及促進につなげたいとの前向きな申し出があった。



- アジア健康構想の下、各国の保健省や労働省等と、保健課題に関する意見交換を実施。
- 日本への人材送り出しを積極的に行いたいとの声がある一方、東南アジアと日本の介護が異なり、帰国後に活躍できる介護の現場がまだ少ない等により、介護人材の送り出しが伸び悩んでいるとの声もあった。
- 東南アジアの一部の国では日本以上の速さで高齢化が進行する見込み。政府は高齢化対策に強い関心を寄せており、中長期的な対策を検討している様子が伺える。

## 各国関係者の話

(政府関係者の話)



- 高齢化対策は極めて重要。
- 海外で介護スキルを磨くことやトレーニングは重要。
- 最近では、台湾を選ぶ介護人材が多い印象。

(現地の介護施設運営者の話)

- プライバシーに配慮した個室、栄養バランスを重視した食事を取り入れている。
- 職員は多忙な分、厚遇にするよう心掛けている。
- 類似の施設はまだ殆ど無いと思う。

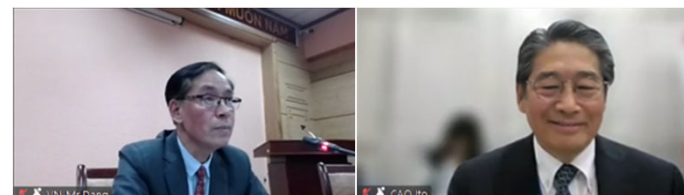
(政府関係者の話)



- 日本への人材送り出しを強化したく、移住労働者省内にJapan Deskを設置した。
- フィリピンはたくさんのCare Workerを育成している。

## 第1回日越ヘルスケア合同委員会

ベトナム保健省の意向により、高齢化をアジェンダに入れた、政府間ハイレベル会合を実施。ベトナムからは同国の家族観や文化と融合した高齢化対策を講じていきたいとの声が挙がった。



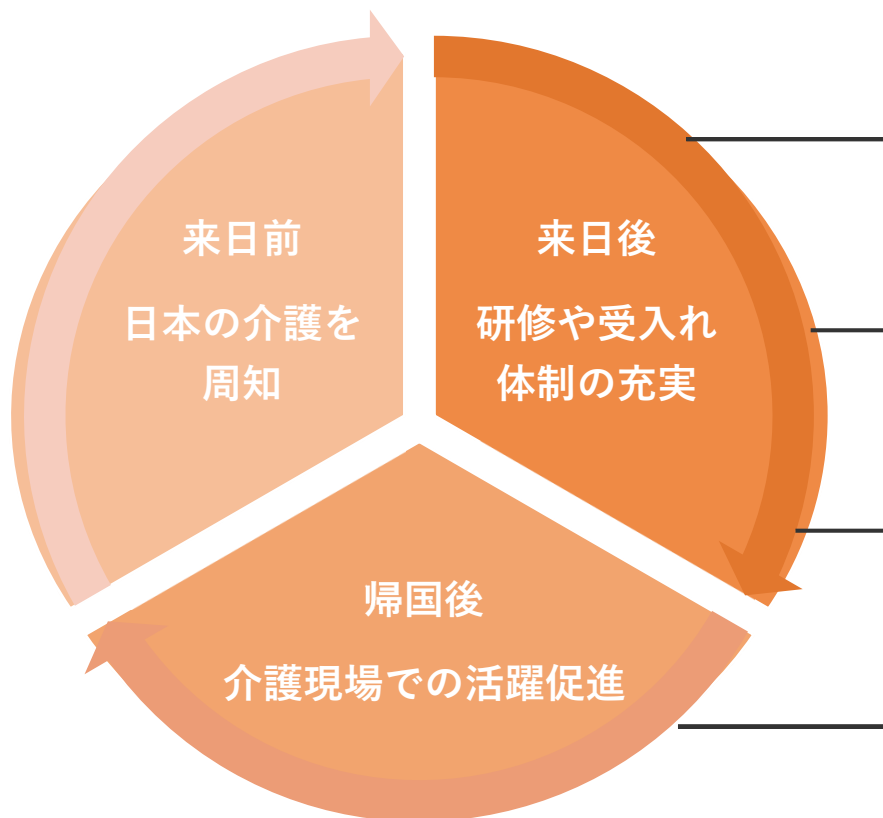
▲ダン・クアン・タン局長（左）と伊藤直樹大使（右）



▲合同委員会の様子

- アジア健康構想の下、介護人材の還流を促進するためには、日本の介護の周知（理解促進）、受け入れ体制の充実、帰国後に活躍できる介護現場の創出を進めていく必要。その際、日本側の取組を、各国政府や関係機関に伝えていく対話を併せて行うことでより効果的に取組を進めていくことができる。
- 本日は、介護人材の来日後の受け入れ等に関し、よく聞かれる悩みに対し、どのような対応を行ってきたか、複数の介護事業者から知見を共有頂くとともに、介護報酬改定に関し、厚生労働省からも発表頂く。
- また、来日後の日本語能力の向上という観点から、介護のための日本語テストに関する広報も実施予定。

## 介護人材受け入れの好循環



## よく聞かれる疑問や悩み

外国の方が介護施設で安心して活躍するにはどうしたら良いか。

外国の方を迎える側はどんな気持ちで臨めばいいのか。

外国の方を迎える仕組みを地域全体で支えるにはどうしたらいいのか。

外国の方が帰国後に活躍する場所を作るにはどうしたらいいのか。